

## 第29回 法人会全国青年の集い茨城大会の報告

平成27年11月20日(金)に第29回法人会全国青年の集い茨城大会が水戸市で開催されました。大会スローガン「漫遊いばらき」～常世の國<sup>とこよ</sup>の國<sup>くに</sup> 魁<sup>さきがけ</sup>の地にて 感性<sup>かんせい</sup>を研<sup>みが</sup>け～のもと、全国から青年部会員を中心に約2000名の方が参加されました。徳島法人会からも、3名が参加しました。

記念講演では、「いのちの絆を宇宙に求めて」という演題で宇宙航空研究開発機構(JAXA)名誉教授の的川 泰宣(まとがわ やすのり)氏の講演がおこなわれ、「真のチームワークは高いミッションの共有から生まれる」という理念のもとに、リーダーの素質やそのリーダーに対しフォロアーはどう協力すればよいのかという視点から、チームワークについて語られました。リーダーシップやチームワークなどを学ぶ良い機会になりました。

大会式典では、青年部会員増強運動の表彰や租税教育活動プレゼンテーションの結果発表と最優秀を受賞されました広島南法人会によるプレゼンテーションが披露されました。また、大会宣言を通して一層の連携強化を進め、青年部会が大きな責任感と主体性をもって法人会活動に参画し、租税教育活動の推進と充実に寄与していくことが確認されました。

また、会場においては物産展が行われ茨城県下の物産が数多く出店され地域のPRに一役かかっていました。

以上のような茨城大会の開催を踏まえ下記のような取組を行いました。

### ◎青年部会交流会での報告会(平成27年12月17日)と今後の取り組み

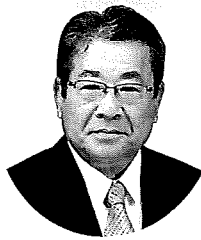
出席した会員より茨城大会での各法人会の活動状況を報告し、感想を述べ意見交換を行いました。青年部会の活動の柱である「租税教育活動」は今後講師養成を進め、ノウハウを一層充実させ実のある租税教育活動を目指すことを決意しました。今後も他の法人会の活動の良いところを吸収し、より良い活動を目指していきたいと思います。

今後とも多くの方々のご協力ご支援をお願いいたします。

## ●ごあいさつ

公益財団法人全国法人会総連合

会長 池田 弘一



第29回「法人会全国青年の集い」茨城大会の開催にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

この青年の集いは、全国の法人会青年部会員の研修と交流の場であるとともに、青年部会の租税教育活動を発表する場として部会活動の充実に重要な役割を果たしております。本日、茨城の地で開催できますことは、全国青年部会員各位のご熱意と茨城県法人会連合会の温かいご支援によるものと感謝申し上げます次第です。

さて、これまで法人会は税知識の普及、納税意識の高揚など「税」を中心とした公益的な活動を幅広く展開してまいりました。新公益法人等への移行を契機に「税のオピニオンリーダーたる経営者の団体」として、公益的な活動をさらに積極的に展開するとともに、より透明性ある運営に心がけ、引き続き広く社会に貢献してまいりたいと考えております。

このため、税のあるべき姿や将来像を見据え、国や地方自治体に対して実施する税の提言活動や、日本の未来を担う子供たちを対象とした租税教育活動等に、今まで以上に力を注いでいきたいと考えております。

とりわけ租税教育活動については、これまで青年部会が中心となって小中学生を対象に全国的な展開を図り、法人会活動の大きな柱となっております。

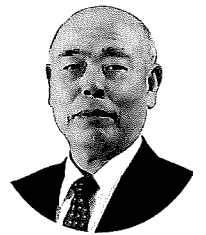
「税」はまさに「国家の礎」であり、子供たちに税の大切さを理解してもらうことは、我が国の将来にとって極めて有意義なことと思います。皆様方のご尽力に敬意を表するとともに、これからも法人会の中核として活躍されることをご期待申し上げます。

最後に、国税ご当局の皆様方には、日頃から法人会に対し深いご理解と温かいご指導をいただいております。この場をお借り致しまして厚く御礼申し上げます。また、茨城県をはじめ地方公共団体並びに友誼団体の皆様方にも、平素のご支援に対しまして深く感謝申し上げます。

どうか、法人会のさらなる発展のために、今後とも皆様方の温かいご支援・ご協力を賜りますよう心からお願ひ申し上げまして、挨拶とさせていただきます。

一般社団法人茨城県法人会連合会

会長 鬼澤 邦夫



本日は、国税庁課税部長様、国税ご当局幹部の皆様、茨城県知事、水戸市長をはじめ、多くのご来賓のご臨席を賜り、多数の青年部会員の皆様をお迎えして、第29回「法人会全国青年の集い」茨城大会を盛大に開催できますこととお慶び申し上げますとともに、全国各地からお越しいただいた皆様を心から歓迎いたします。また、青年部会の皆様、各単位会にあって租税教育や様々な分野でご活躍されておりますことに敬意と感謝申し上げます。

茨城県は、奈良時代に編纂された「常陸国風土記」に常世の国と記されたとおり、温暖で豊かな自然に恵まれ山海の幸が溢れる地域です。

関東平野に位置する平坦な土地が多い中で、日本三名瀑の「袋田の滝」、(西の富士、東の筑波)と称される霊峰「筑波山」、四季折々の花々が彩る広大な「国営ひたち海浜公園」など観光スポットが数多くあります。また、開催地の県都水戸市は、日本遺産認定で日本最大の藩校「弘道館」や、日本三名園の一つで都市公園として世界第2位の面積を持つ「偕楽園」など、歴史文化遺産が数多く残されています。

また、茨城県は農水産物で全国屈指の生産量を誇っております。名物の「納豆」のほかに生産量日本一の「メロン」や「栗」、玄そばの最高峰といわれる「常陸秋そば」、常磐ものとして高い評価の「ひらや」や「アンコウ」、ブランド肉の「常陸牛」「ローズポーク」「奥久慈しゃも」など、食の王国です。さらに、大自然の恵みと豊かな五つの水系の下、関東地方では最も多い46の酒蔵で銘酒が醸されております。

一方、県南に位置するつくば研究学園都市には、「JAXA宇宙センター」や「産業技術総合研究所」をはじめとする、最先端技術を研究する各分野の関係機関が数多く集積しています。

ご参加の皆様には、山海の豊かな食材をご堪能いただきながら交流を深められ、最先端科学や文化財、豊かな自然などを見学していただきたいと思っております。そして、物産展におきましては、茨城県の名産品を数多く取り揃えましたので、是非ご利用いただきますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

結びに、ご来賓、ご列席の皆様のご健勝とご活躍、法人会並びに青年部会のご発展を祈念いたしまして、歓迎のご挨拶といたします。

公益財団法人全国法人会総連合  
青年部会連絡協議会

会長 醍醐 正明



豊かな山の幸と海の幸に恵まれ、歴史や伝統、最先端技術など、様々な側面が調和した、ここ茨城において、第29回「法人会全国青年の集い」茨城大会を開催するにあたり、主催者として一言ご挨拶を申し上げます。

本日ここに今大会が盛大に開催できますことは、国税ご当局、関係諸官庁の皆様の日頃のご指導と、茨城県連をはじめとした多くの法人会関係各位のご尽力の賜物と厚く御礼申し上げます。

さて、全法連青年部会連絡協議会では、租税教育活動の積極的な実践を柱に活動を展開しております。次代を担う子どもたちが、社会の根幹を成す税について広く学ぶことは大変に意義深く、私たちにとっては非常にやりがいのある活動と考えております。

現在、全国ほぼすべての単位会青年部会で租税教育活動が実施されるに至り、今後は各地の青年部会がさらに主体的な活動を展開するとともに、活動の質と量を一層向上させていく段階にきていると考えております。そのためにも、各地の青年部会におかれては、創意工夫を凝らし、主体的にお取り組みいただきたいと思っております。

それと同時に、青年部会員の増強運動にも、より注力すべきと考えております。良い活動をするためには、ある程度の部会員数が必要であれば、それぞれの部会員にとって逆に負担になってしまうと思っております。青年部会の活動を更に充実していくためにも、部会員増強に積極的に取り組むことが必要だと考えます。今大会でも、各青年部会長の皆様には「部会員の拡大と定着」をテーマに真剣に議論していただいた中で、そのノウハウなどを皆で情報共有していければと考えております。

今大会のスローガン「漫遊いばらき ～常世の国 魁の地にて感性を研げ～」には、この茨城の地で青年部会員としての感性を研ぎ、新たな気付きを得る機会となることを目指したい、との思いが込められています。

今大会に参加される全国の青年部会員の皆様には、こうした観点から今大会で得られた気付きを、所属会の活動にお役立ていただきたいと願っております。

結びに、おもてなしの心をもって素晴らしい大会をつくりあげていただきました川口大会会長、大和田実行委員長をはじめとする大会実行委員会の皆様には心から敬意と感謝を申し上げ、挨拶に代えさせていただきます。



第29回

「法人会全国青年の集い」茨城大会

大会会長 川口 拓麻



全国の法人会青年部会の皆様、全国各地より第29回「法人会全国青年の集い」茨城大会にお越しいただき、開催地を代表いたしましたお心を申し上げますとともに、心よりご歓迎申し上げます。

また、本大会の開催に際しましては、多大なるご指導ご支援を賜りました全国法人会総連合、国税ご当局、青連協役員の皆様、そして本日ここにご参加いただきました全ての皆様方に心より感謝申し上げます。

本大会のスローガン「漫遊いばらき～常世の国 魁の地にて感性を研げ～」に掲げられておりますとおり、茨城県は古来より豊かな自然に恵まれ山海の幸が溢れる地域です。そして本大会が、水戸徳川家の第9代藩主斉昭公が表した藩校「弘道館」の天下の魁の精神をしっかりと受け継ぎ、租税教育を中心とした青年部会活動に一層の研ぎが掛かる大会となりますようお願いしております。

租税教育活動は、日本の未来を担う子供たちに税の使われ方をおして税の大切さを理解してもらい、ひいては国や地域社会を愛する気持ちを醸成する極めて重要な活動です。本大会の「租税教育活動プレゼンテーション」では、全国全ての単位会での活動の参考となりますよう、抱えている課題と解決策など取り組み状況のご発表をご覧いただき、今後の活動の参考としていただきたいと思っております。

また、租税教育活動を活発に実施していくためには、青年部の部会員増加させ定着を図っていくことが必須です。「部会長サミット」では「青年部会活動充実のための部会員増強」をテーマに議論していただき、その意義を再認識し今後の部会員増強に努めたいと思っております。

一方、全国青年の集いは、毎年1回、全国の青年部会員が集まる貴重な機会であります。「懇親会」においては、茨城県の山海の幸をご堪能いただきながら活発な情報交換を行っていただき、部会員相互の意義深い親睦・交流を図っていただきたいと思っております。

結びに、大会にご出席いただきました全ての皆様方のご繁栄とご健勝をご祈念申し上げ、歓迎の挨拶とさせていただきます。



## ●開催趣旨

法人会は、今般、税のオピニオンリーダーたる経営者の団体として国と社会の繁栄に貢献することを、新たな「理念」として掲げました。この「理念」とともに定められた「行動規範」においても、税のオピニオンリーダーとして「租税の理解、望ましい税制・財政のあり方の提言、納税意識の高揚と税知識の普及啓発」に努めることを責務としています。いわば「税」に関わる事業は法人会の原点であり、この原点に基づき、私たち青年部会の大きな柱である租税教育活動を、より充実させ有意義なものへと発展させていく必要があります。

本年第29回「法人会全国青年の集い」が開催される茨城県は、奈良時代に編纂された「常陸国風土記」に「土地が豊かで常世の国(豊穰をもたらす理想郷)のようだ」と語られているように、現在でも様々な山の幸と海の幸に恵まれた土地であります。一方で、県都水戸には、本年日本遺産に登録され、幕末に人材育成と様々な学問の教育を行っていた藩校「弘道館」があります。県南に位置する筑波研究学園都市には、JAXA宇宙センターをはじめとする、各分野の最先端技術を研究する数多くの関係機関が集まっています。茨城県は歴史や文化、芸術と最先端技術や自然が調和し、古きものを受け継ぎかつ新しい価値を積極的に創造していこうという風土があります。この大会を通して、このような高いポテンシャルを持つ茨城を漫遊することで、企業や社会の次代を担う青年としての感性を研ぎ、新たな気付きが得られる機会になることを目指してまいります。

私たち青年部会の租税教育活動のさらなる充実と発展、日本の未来を担う全国の子供たちに正しい税知識を伝える、より多くの仲間が必要です。そのためにも、この大会では、“いかに青年部会員を増やし、定着してもらおうか”をテーマに真剣に議論します。常世の国、茨城の地で開催するこの大会に、全国の青年部会員が集い、議論することで、自らの感性を研ぐとともに、思いもよらない気付きを得る契機になるものと考えます。そして、私たち青年部会員がこの大会で得たものを全国441単位会のそれぞれの地域に持ち帰ることが、租税教育活動をはじめとする青年部会活動の発展に寄与し、ひいては国と社会のより一層の繁栄に繋がっていくことを確信いたします。

## ●大会スローガン

**漫遊いばらき**  
とこよ くに きき ち かんせい みが  
 ～常世の国 魁の地にて 感性を研げ～

## ●大会シンボルマーク



いんろう  
**印籠ちゃん**

●城大会シンボルマークは、時代劇水戸黄門で有名な印籠をモチーフと致しました。

お付きの助さん、格さんが三つ葉の印籠を出し、「頭が高い！ここにおわずお方をどなたと心得る！恐れ多くも先の副将軍、水戸光圀公であらせられるぞ！」という決め台詞が最大のクライマックスシーンであったことはとても有名です。

全国津々浦々より皆様をお迎えする私たちは、法人会全国青年の集いをきっかけに、茨城県をぜひ“漫遊”して頂きたいと思えます。



## ●記念講演

開催日時 平成27年11月20日（金）14：00～15：10

会場 茨城県立県民文化センター 1階 大ホール・小ホール

### 演題／この国とこの星と私たち ～「はやぶさ」からのメッセージ～

講師／的川 泰宣（まどがわ やすのり）氏

宇宙航空研究開発機構（JAXA）名誉教授

講師としてお招きするの的川泰宣氏は、1942年に広島県呉市にお生まれになりました。東京大学工学部航空学科を卒業された後、東京大学宇宙航空研究所に入所され、2003年にJAXAの教育・広報統括執行役に就任されました。今までに日本の数多くの宇宙開発ミッションに携わってこられ、現在でも宇宙科学を語るうえで、無くてはならない人物です。JAXA在職中には学校教育と社会教育の連携の重要性を説き、家庭を軸にした社会教育に取り組むため「宇宙教育センター」を設立された人物でもあります。JAXAを退職された後は、JAXA名誉教授、横浜こども科学館館長、国際宇宙教育会議日本代表、米国惑星協会評議員などの要職を務める傍ら、自ら認定NPO法人「子ども・宇宙・未来の会」を設立され、学校教育とは別に、宇宙をキーワードに子どもたちが育つ家庭・地域の絆を深め豊かな未来を築くための活動に取り組まれています。一方、「ハレー彗星探査計画」や「はやぶさプロジェクト」の中心的メンバーであった時の経験を活かし「真のチームワークは高いミッションの共有から生まれる」という理念のもとに、リーダーの素質やそのリーダーに対しフォロワーはどう協力すればよいのかといった視点から、チームワークがミッション達成のために不可欠な要素であるということを多くの講演会において説いていらっしゃいます。今回は租税教室活動の一環としてこの記念講演を捉え、招待した小中学生の皆さんに対し、未来に大きな希望を持てるような宇宙のお話を語って頂くと共に、法人会青年部会会員にとっては、リーダーシップやチームワークなどを学ぶ機会にして頂ければと考えております。



的川 泰宣（まどがわ やすのり）

#### ■プロフィール

宇宙航空研究開発機構JAXA名誉教授／こども宇宙科学館館長／認定NPO法人「子ども・宇宙未来の会」名誉会長／日本宇宙少年団顧問／日本学術会議連携会員／国際宇宙教育会議日本代表

広島県呉市生まれ。東京大学工学部、同大学院博士課程、東京大学宇宙航空研究所、宇宙科学研究所教授・鹿児島宇宙空間観測所長・対外協力室長、宇宙航空研究開発機構（JAXA）執行役を経て現職。この間、ミューロケットの改良、数々の科学衛星の誕生に活躍し、1980年代には、ハレー彗星探査計画に中心的なメンバーとして尽力。2005年には、JAXA宇宙教育センターを先導して設立、初代センター長となる。日本の宇宙活動の「語り部」であり、「宇宙教育の父」とも呼ばれる。著書『人類の星の時間を見つめて』（日刊工業新聞社）ほか多数。

#### ■著書・その他

『人類の星の時間を見つめて』（日刊工業新聞社）

#### ■講演テーマ

- はやぶさの軌跡 ～21世紀を担う技術者の夢～
- いのちの絆を宇宙に求めて
- はやぶさの奇跡 ～挑戦と復活の2592日～
- 学校・家庭・地域社会の連携とは何か  
～いま日本で生きること～

# 平成27年5月～平成28年2月租税教室実施報告表

公益社団法人 徳島法人会

	日時	学校名	回数	生徒数	担当
1	5月26日	文理小学校	1	41	青年部津川部会員
2	7月7日	宮井小学校	1	14	森事務局長
3	7月15日	○勝浦中学校	1	44	山田専務理事
4	7月28日	南小松島小学校	1	67	森事務局長
5	8月3日	石井小学校	1	83	森事務局長
6	8月9日	親子タックスセミナー	1	78	青年部津川部会員
7	9月8日	川内北小学校	1	130	森事務局長
8	1月12日	高原小学校	1	39	森事務局長
9	1月13日	一宮小学校	1	13	森事務局長
10	1月14日	上八万小学校	1	50	青年部湯村副部会長
11	1月15日	和田島小学校	1	42	森事務局長
12	1月15日	○徳島中学校	1	160	山田専務理事
13	1月19日	論田小学校	2	30	山田専務理事
14	1月20日	坂野小学校	1	17	青年部笠井幹事
15	1月20日	○八万中学校	1	213	山田専務理事
16	1月21日	八万南小学校	1	85	青年部笠井幹事
17	1月22日	鳴門教育大学附属小学校	1	116	山田専務理事
18	1月25日	大松小学校	3	82	青年部笠井幹事・森事務局長
19	1月26日	渋野小学校	1	47	森事務局長
20	1月27日	内町小学校	1	33	青年部石津副部会長
21	1月28日	川内南小学校	1	47	青年部田村部会長
22	1月29日	昭和小学校	3	66	青年部笠井幹事・森事務局長
23	2月1日	児安小学校	1	22	森事務局長
24	2月2日	八万小学校	1	98	森事務局長
25	2月3日	加茂名小学校	1	73	青年部田村部会長
26	2月4日	国府小学校	4	121	青年部石津副部会長・森事務局長
27	2月5日	北井上小学校	1	32	青年部田村部会長
28	2月5日	南井上小学校	1	71	青年部田村部会長
29	2月8日	芝田小学校	1	13	森事務局長
30	2月9日	富田小学校	1	51	青年部石津副部会長
31	2月10日	不動小学校	1	20	青年部湯村副部会長
32	2月12日	沖洲小学校	3	103	森事務局長
33	2月16日	加茂名南小学校	3	107	青年部湯村副部会長・森事務局長
34	2月17日	櫛淵小学校	1	6	森事務局長
35	2月19日	応神小学校	1	35	森事務局長
36	2月22日	千松小学校	1	148	青年部笠井幹事
37	2月26日	入田小学校	1	5	青年部湯村副部会長
合 計			49	2,402	

○中学校

〈平成27年度租税教室 33小学校 3中学校 2,402名〉